

坂道、  
海道、  
尾道

お

の み

ち

ooc-u-e-i-tun-3onoo



Y  
tun  
sagi  
ni

夕

信



風 通



[ひびざきちゆうがっこう  
ぶんかぶ] 文化部



尾道市立

ひびざきちゆうがっこう





# キャラクター紹介



**日崎文乃**  
Hisaki Ayano

中2が好きな人の  
読書が何となく  
幼馴染の健人の  
事を何かと気にかけている

**ちやる**  
Tyaro

とれたからただけ  
と名前を付けて  
茶色と白の直線  
茶色と白の直線  
茶色と白の直線  
茶色と白の直線



**道尾健人**  
Michio Kento

中2が得意で  
運動が決め事  
決めるのが苦  
勉強が苦手

## パンフレット説明

このパンフレットでは**日比崎** **中学校** **生徒**が、生まれ育った **地元**、**尾道**を紹介します。

### 見どころ

最大の特徴は製作者が中学生な点です。大人が作る一般的なパンフレットとは、**違う着眼点や思想**を持っています。各紹介地ごとに、**私たちなら**では、**おすすめポイント**を載せています。小説調の本文と併せてお楽しみください。

### 本文中の俳句、短歌について

本文中に出る俳句は三年生、短歌では二年生がそれぞれ**国語科** **学習**で詠んだものです。懸念に調べるため、**各々が伝えた**ので、**魅力**を込めた句歌を載せています。

## 序章

「おはよう。じゃ、いこっか。」  
雲一つない快晴の日曜日。私、日崎文乃は幼馴染で同級生の道尾健人と尾道駅前待ち合わせしていた。  
「どこにするかまだ決めてないんだよな。」  
「色々見て回って決めればいんじゃない？」  
二日前の金曜日、総合学習で体育館に集められた私達はある課題を出された。それは、  
「尾道の好きな場所を調べ、レポートにまとめてくること。」  
それをするために部活がない日曜日に集まった訳だ。  
「ニヤー！」  
坂道を登っていると、どこからともなく野良猫が姿を現した。  
「ちやるじゃん！久しぶりだな。」  
「ほんとは。：ね、ちやるも連れて行かない？写真にも猫が映ってたりした方が尾道っぽいわ、もしかしたら私たちが知らない所隠れた名所に連れてってくれるかもよ。」  
「それいいな！ちやる、よろしくニヤー！」





# 千光寺

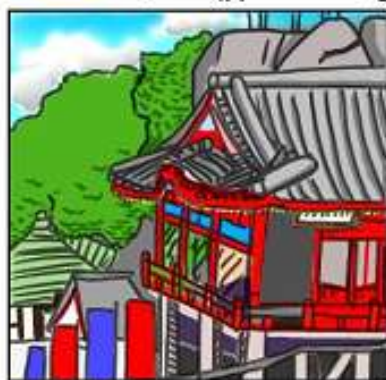
鮮やかな色彩の寺

美しい景色

登りがいのある坂

来てみて損なし！

## 千光寺



幼き日 千光寺から 見た景色

十四の今も 思い出すかな



一度見ると忘れられない絶景。それが千光寺から見る景色です。

今も目を瞑れば、あの自然と街並みとのコントラストが鮮明に浮かんできます。

この写真の数十倍は綺麗だよ！  
ぜひ自分の目で確かめてほしい！



千光寺 真っ赤に染まる 赤い宮  
暁に燃え 紅一色



千光寺を思い浮かべた時、真っ先に出てくるのはその特徴的な赤い宮です。

特に本堂は「赤堂」とも呼ばれ、珍しい舞台造りをしています。

自然緑の中に聳える紅の寺。これを見ない手はないでしょう！

夏の夕 照らす鐘楼 胸打たれ



除夜の鐘として親しまれ、「時の鐘」とも呼ばれる千光寺の鐘楼。本堂と同じ

美しい朱色をしており、目を引かれてしまいます。



ロープウェイで  
一気に頂上も  
いけど、体力あ  
いけど、歩いて  
人は歩い  
てほしい！

千光寺へ 汗を流して 歩きゆく

上から見下ろす 白銀の小艇



「綺麗な景色」と言われれば千光寺を想像してしましますが、そこまでの道のりも忘れてはいけません。

息を揚げて階段を登り、ふと後ろを向くと疲れも吹き飛ばすような佳景が広がっています。

## 日比中生オススメSPOT

千光寺のオススメは、可愛らしい絵馬です。

豊富な種類の中から願い事に応じた絵馬を選ぶ事ができます！



初めての受験を控える私たちの心強い味方になってくれそうです





# 千光寺周辺

文学好きには  
たまらない！

## 文学の小道



夏風に 風声と短歌 葉と俳句



文学の小道は自然と俳句などを楽しみながら散歩ができるスポットです。松尾芭蕉、正岡子規などの俳句から林芙美子の放浪記のワンシーンまで、幅広く文学を楽しむことができます。

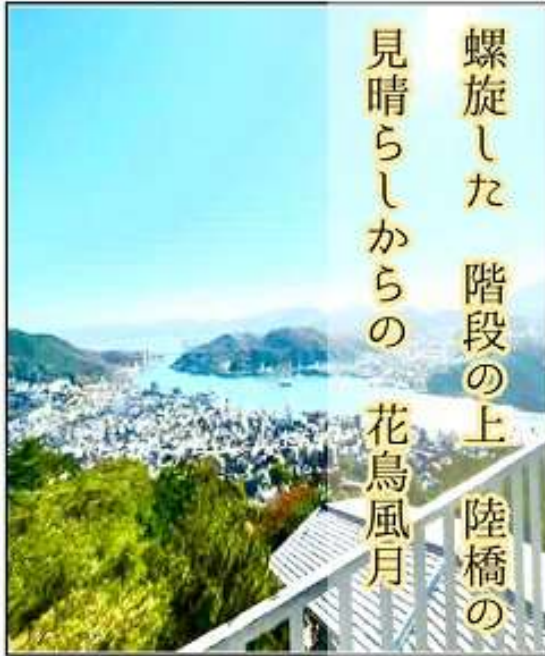


小道を登り切った先に構えるは、迫力抜群！巨大な螺旋階段！

## 展望台

螺旋した 階段の上 陸橋の

見晴らしからの 花鳥風月



山の上まで登った先に待っているご褒美。海から山まで尾道中を一望できます。ここに行っておけばまず間違いはないです！

正に花鳥風月  
というにふさわしい風景だよ



視点場 上 色づく全景 弥生尽



尾道城の石垣を利用して作られた展望台です。入ってすぐのところには尾道城に付けられていたシャチホコも飾られています。

風薫る 疲れ吹き飛んだ 鼓岩



千光寺の近くにある鼓岩はハンマーで叩くと、ポンポンと鼓のような音がでることから別名ポンポン岩と呼ばれ親しまれています。広大な景色を前に岩の音を聞くと、小さな事などどうでも良くなってしまうね。



# 天寧寺 浄土寺

来てみて分かる魅力が満載  
直接来てみて感じてみ!

## 天寧寺



大夕焼け 家屋彩る 三重塔



尾道の塔といえば天寧寺の三重塔ですよね。  
住宅の中に飛び抜ける三重塔は目を惹く存在であり、シンボリックな存在として愛されています。



無料Wi-Fiのマークにもなってるニャ

## 天寧寺 本堂見聞 哀と活



天寧寺は元々三町分面積を持つ大寺院でした。しかし、建てられてから約三百年後の火災によって敷地の大部分を失い、今では本堂と少し離れた三重塔のみになっていきます。  
奇跡に残ったこの場所からは哀しみとそれでもなお生き続ける生命力が感じられます。

## 日比中生オスメSPOT

浄土寺オスメはコレ!  
鳩の餌やりです。  
たったの三十円で鳩達からの熱烈な愛を受けることができます(笑)



数十羽の鳩が目を光らせて飛んでくるので、怪我をしないようにお気を付け下さい!



## 国宝に鳩 特色いっぱい!

## 浄土寺



とても人に慣れてるから肩や手にとまってくれるんだ



目に映る 寺の鳥居の 影が落ち  
猫も覗くは 日暮れの鳩寺



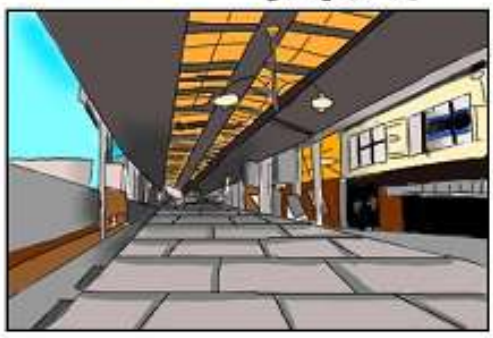
浄土寺は、国宝の多宝塔があるお寺です。鳩寺と呼ばれていることからわかるように、敷地内では数十、数百羽の鳩が過ごしています。  
たまに見られる鳩が一斉に空へ羽ばたき姿は、正に圧巻としか言いようがありません!



# 商店街

老舗から  
最近の店まで  
行く場に困れ  
ば何でもあり  
ます！

## 商店街



暖かな 町中の光 みかん色  
いつになっても 変わらないまま



地元のような暖かさ、安心感のある尾道。特にその雰囲気を持つのは商店街です。昔から愛される店が多く、勿論売っている物の品質は保証できます！



夜になり 夕陽に照らされ 尾道は  
路地にある店 ネオンが灯る

昼間もそうですが、夜景も負けず劣らずの綺麗さです。昼を鈴蘭と例えるなら、夜は神秘的という花言葉を持つ紫の紫陽花でしょうか。



友達と たくさん笑う 日曜日  
笑顔いっぱい商店街

友達と一緒に遊びに行く日曜日。家族連れや一人でのんびりの人ともすれ違いながら楽しく笑う。理想の休日ですね。



秋風に 吹かれて香る 本通り

商店街、尾道本通りの入口には美子像が設置されていて通る人を温かく見守っています。色々なところから入ることはできませんが、ぜひここから入ってみてください。

## 日比中生オススメSPOT

商店街のオススメの楽しみ方は、入口から大判焼、たこ焼き、天ぷら、クレープ、唐揚げ



などを欲望のままに食らいながら歩き回ることです。いっぱい歩くのでプラマイ0ですよ笑  
特産物をふんだんに使ったパフェや、尾道ラーメン店も沢山あるので、ガッツリ食べることもできます！





# 短歌・俳句特集

日比崎中の二、三年生が考えた  
計一九一の句や歌の中から五つを  
イラスト付きで紹介します。



晴天日 多々羅大橋 渡ってみれば  
こだまする音 多々羅鳴き龍



桜道 春限定のピンク色  
景色彩り 尾道散歩



いたよいた 探し続けて 岩上  
写真撮る僕 逃げ惑う猫



足の形 思い出すのは あの踏絵



小夜なりて 花束描く 遠花火



# 終章

「んー！いっばい歩いてお腹すいたあ！」  
探索が終わって帰ってきた午後一時。大きく伸びをしながら健人はそう言った。

「そうだねー。でもこれで終わりじゃないよ。ご飯食べたなら、レポートにまとめなきゃ！」

「うわ！完全に忘れてた…！」

私の腕に抱えていたちやろが飛び出し、健人の足に擦り寄る。

「ニヤー！」

「ちやろー！がんばれって言うてくれてるのか？」

「きつとそうだよ！ほら、早くご飯食べてやろう！」

「うん！」

「ニヤー！」

この後食事をとり、二人と一匹で作業を始めたものの、戯れてくるちやろにかまけてレポートが進まず、半泣きで深夜まで作業する羽目になった二人の姿が見られたとか見られなかったとか…



ご覧いただき

ありがとうございました！

To be continued...

